

グローバルビジネスに通用する人材とは ~PSR: Personal Social Responsibility~ 全6回

(講師:石田 寛 関西学院大学経営戦略研究科 准教授 / 経済人コー円卓会議日本委員会 事務局長)



【コンセプト】

企業がグローバルに展開する一方で、今、日本人の存在感がグローバル社会において薄れているといわれています。コミュニケーションの問題だけではなく、情報発信力の弱さ、西洋資本主義の背景にある西洋哲学・宗教の理解不足、そして、日本・アジアの経済活動の背景にある東洋思想の理解不足もあるのではないのでしょうか。知識偏重教育により、日本人は戦術力には長けているが、戦略を構築する力が脆弱だとも言われています。

混沌とした現代社会において、これからのグローバル組織を動かすリーダーは、知識(スキル)よりも「智慧」を学んでいかなければなりません。グローバルビジネスに通用する人材に欠かすことのできないものは何か、企業の社会的責任CSRに対して、個人としての社会的責任PSRとは何か。グローバルな経済活動の源泉として、西洋・ギリシア・東洋哲学をひもときながら、グローバル経済において、自らぶれない判断軸を磨くにはどうしたらよいか解説します。(講義時間 合計約6時間)

【テーマ】

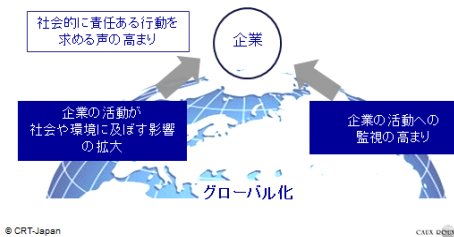
- 第1回 経営者としての役割
- 第2回 西洋産業資本主義の源泉を探る
- 第3回 宗教・哲学を通じて西洋産業資本主義のあり方を問う
- 第4回 東洋思想の源泉を探る
- 第5回 日本人が本来持つ価値観を問う
- 第6回 ぶれない判断軸を定めるための秘訣

【講義資料より】

1. 企業の経営者として果たすべき責任(責務)

いま世界では、何が企業の社会的責任として問われているか？

企業活動のグローバル化に伴い、自らの活動が社会や環境に与える影響を把握し、責任ある行動をとるように求める声が高まっている。



2. 企業人に求められる教養

経営幹部・ビジネスリーダー育成におけるテーマ設定の考え方

